



くぎかいだより

NO. 210
発行/北区議会
〒114-8508
東京都北区王子本町1丁目15番22号
TEL(3908)1111(大代表)

迎春



2007

議長・副議長 あいさつ



副議長
いけだ ひろいち
池田 博一



議長
ごとう けんじ
後藤 憲司

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

北区は今年区制施行六十周年を迎えるにあたり、多くの記念行事が行われているところで、昨年、新たに倍賞千恵子氏をアンバサダー(北区の宣伝大使)として迎え、ドナルド・キーン氏を名誉区民に選定し、北区の魅力アピールしてまいりました。

一方では、障害者自立支援法の施行、介護保険制度の見直し、税法改正など、大きく変革のあった年でもあります。

また、北区の少子高齢化の問題は東京の中でも最も進行し、長期の将来を見据えた施策が求められています。特に子ども施策には重点を置き、子ども医療費助成を中学三年生の通院費まで拡大するなど、子育て支援の充実を図りました。高齢者・障害者福祉の分野では、健康はつらつパワーアップ事業の継続や、特別養護老人ホームの開設、駅周辺のバリアフリー施設の計画も推進してきました。

今年も区議会は、多くの区政課題をしっかりと見据え、区と連携を図り、区民の皆様と協働して、区民が主役の地域社会の確立のために全力で頑張ります。

今後とも、皆様のご意見・ご要望をいただきながら、その負託に応えられますよう議会運営を推進してまいります。

年頭にあたりまして、皆様のご健康とご発展を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成十八年 第四回定例会

各会派の代表質問

平成十八年第四回定例会は、十一月二十八日に招集され、十一日間の会期で十二月八日に閉会しました。

十一月二十八日、二十九日の二日間にわたり、九名の議員が、財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・一般質問を行いました。二頁〜四頁は、その質問と答弁の要旨を多数会派順に掲載しています。

今回、区長から提出された議案二十一件、議員から提出された議案八件、請願・陳情九件を議決しました。(五頁掲載)

積極的な協働の推進について いじめ問題を問う

公明党議員団

横満加代子

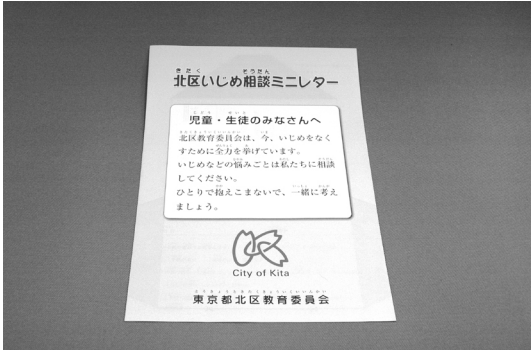


問 事務事業全体を分類・選定し、可能な限り事業内容を公開した上で、区民が協働できる事業を提案する制度創設への取組みを問う。

答 区民主体のまちづくり推進には、区民の視点や発想で協働事業を提案できる制度が必要である。早期実現に向けて、鋭意検討している。

問 団塊世代をはじめとする区民が個人や小グループで協働に参加

できるような対応が必要と判断した場合には、可能な方策を検討し、実施していきたい。



いじめ相談ミニレター

できる制度採用への見解を問う。

答 区民一人からの協働も視野に入れ、政策提言等様々な手法で協働事業への区民・団体の参加を図る。

問 いじめで、児童生徒が死を選ぶ痛ましい事件が相次いでいる。いじめを絶対許さない教師の毅然とした態度が必要だが、見解を問う。

答 いじめを絶対許さない風土をつくるのが大切である。いじめ問題緊急対策本部を立ち上げ問題解決に向けた取組みを策定している。

問 いじめ問題を学校全体で共有し

取組む「ピアサポート」は、いじめの予防や早期発見に効果を発揮すると言われているが見解を問う。

答 互いに思いやり支え合う人間関係の構築はいじめ防止にも繋がる

問 妊婦の健康を守り安心して出産できるような健康診査費用の無料化に向けた積極的な取組みを求め

答 十六年度から区独自の助成等で負担軽減しているが、子育て支援の観点から更なる拡充を図りたい。

取組む「ピアサポート」は、いじめの予防や早期発見に効果を発揮すると言われているが見解を問う。

答 互いに思いやり支え合う人間関係の構築はいじめ防止にも繋がる

問 妊婦の健康を守り安心して出産できるような健康診査費用の無料化に向けた積極的な取組みを求め

答 十六年度から区独自の助成等で負担軽減しているが、子育て支援の観点から更なる拡充を図りたい。

問 いじめ問題を学校全体で共有し

取組む「ピアサポート」は、いじめの予防や早期発見に効果を発揮すると言われているが見解を問う。

答 互いに思いやり支え合う人間関係の構築はいじめ防止にも繋がる

問 妊婦の健康を守り安心して出産できるような健康診査費用の無料化に向けた積極的な取組みを求め

答 十六年度から区独自の助成等で負担軽減しているが、子育て支援の観点から更なる拡充を図りたい。

問 いじめ問題を学校全体で共有し

取組む「ピアサポート」は、いじめの予防や早期発見に効果を発揮すると言われているが見解を問う。

答 互いに思いやり支え合う人間関係の構築はいじめ防止にも繋がる

問 妊婦の健康を守り安心して出産できるような健康診査費用の無料化に向けた積極的な取組みを求め

答 十六年度から区独自の助成等で負担軽減しているが、子育て支援の観点から更なる拡充を図りたい。

問 いじめ問題を学校全体で共有し

取組む「ピアサポート」は、いじめの予防や早期発見に効果を発揮すると言われているが見解を問う。

答 互いに思いやり支え合う人間関係の構築はいじめ防止にも繋がる



相楽 淑子

日本共産党北区議員団

介護認定ランク下げ問題を問う 障害者自立支援法は出直しを

問 介護認定更新調査の結果、百一歳の方の介護度が四段階も下げられた。血の通った改善を求める。

答 今回、十一月一日に見直しを求めて再度申請が出され、十一月中の結果通知が可能な状況である。

問 障害者自立支援法の出直しを国に求めるとともに、区にガイドヘルパーや在宅サービス等の利用者負担軽減策の拡充を求める。

答 提案のような対応が必要と判断した場合には、可能な方策を検討し、実施していきたい。

問 いじめ・自殺問題の実態をどのように把握しているのか。学校、保護者、地域等が力を合わせどう立ち向かっていくのか決意を問う。

答 四月から十月末までに小学校三十五件、中学校三十二件のいじめが発生している。いじめ問題緊急対策本部を設置し対応している。

問 放課後の全児童対策と学童クラブは、役割も内容も違うものと位

置付け、今後も学童クラブの大規模化解消への対策を求める。

問 旧赤羽台東小と旧赤羽台中の跡地活用について、自治会から要望書が提出された。この要望を尊重し、広域避難広場として確保し、地域住民の活動の場とすること。

答 学校跡地は区民全体の貴重な財産であるという考え方を基本に、団地建替えとも関連し、地域の課題についても十分考慮していく。

問 旧赤羽台東小と旧赤羽台中の跡地活用について、自治会から要望書が提出された。この要望を尊重し、広域避難広場として確保し、地域住民の活動の場とすること。

28日

16日

10日

8日

27日

26日

25日

24日

11月

28日

16日

10日

8日

議会のうごき

10月

建設委員会

○視察(24日〜25日)
・尼崎市、大阪市

企画総務委員会

○視察(25日〜26日)
・鈴鹿市

健康福祉委員会

○視察(26日〜27日)
・仙台市、福島市

区民生活委員会

○説明会
・東京二十三区清掃一部事務組合における新会社の設立について

○委員会

・説明会のまとめ

11月

区民生活委員会

○説明会
・北区豊島五丁目地域ダイオキシン類土壌汚染対策計画(案)について

○委員会

・説明会のまとめ

防災対策特別委員会

○視察
・彩湖
○委員会
・視察のまとめ

議会運営委員会

○委員会
・本会議における議案の日程方法の変更についてほか

本会議

○代表質問ほか
議会運営委員会
○委員会
・追加予定議案の取り扱いについて

安全・安心対策について

石神井川の水害対策について

自由民主党議員団

黒田みち子



- 問** 区民の生命や財産を守るため、石神井川下流域に調整池の設置や下水管の付け替え等を早期に計画することを提案する。都と区が連携して取り組むべきと考える。
- 答** 沿川地区の水防体制強化につながるものと考え、提案の趣旨を踏まえ、更なる整備水準の向上を図るよう都に対し申し入れていく。
- 問** 保育園の入所希望は増加している。



観音橋周辺の石神井川

- 問** 中期計画に待機児解消をしっかりと位置付けることを前提に、区の現状と取り組みを問う。
- 答** 十月一日時点の待機児数は百五十五名で、保育需要が逼迫している地区を中心に区立保育園の施設をフル活用し当面の対応を進める。
- 問** 手軽で利用しやすい通気式生ごみ保管容器を活用した生ごみ減量の推進と一部助成の実現を求める。
- 答** 廃棄物の発生・排出抑制効果も期待できると考え、今後、普及の仕方を含めて検討していく。
- 問** いじめをなくすため教育委員会には強い方針を打ち出すべき。いじめを隠す体質をなくし、子どもの逃げ場をアドバイスできる体制を。
- 答** 児童生徒の人權を尊重した学校環境を整え、家庭・地域とも連携しながら対応していく。
- 問** 区役所の窓口が分かりにくいとの苦情がある。もっと利用しやすくするため、移転を含めた区役所庁舎建設の調査検討を始めては。
- 答** 受付業務の充実等、区民への親切丁寧な案内に意を用いていく。

中小零細企業の景気対策について

民主党北区議会議員団

鈴木 隆司



- 問** 地域経済産業の担い手である中小零細企業を地域成長の原動力として支援体制をとるべきと考える。
- 答** 行政機関に対する「資金面でのサポート」「指導員の派遣」「マッチング事業拡充」の要望を踏まえ活性化に取り組んでいく。
- 問** 区内の駐車場対策として、公園の再整備計画の中で、赤羽公園の地下に駐車場の創設を提案する。
- 答** 地下駐車場については需要調査や費用対効果等の分析を十分行った上で整備の方向性を判断したい。
- 問** 不妊治療の健康保険適用を地元自治体で検討し、国に働きかけ都及び区も実態を把握し対応すべき。
- 答** 特定不妊治療は、少子化対策から国が都道府県を事業主体として補助事業を行っている。区では女性の悩みについて相談を実施しており、今後も適切に対応していく。
- 問** 若年層の世代内格差を固定させないよう、地域雇用推進会議を創



保育園の運動会

- 問** 設し、二一トや身障者の就業支援策の実効性を高めるべき。
- 答** 今後とも、「北区障害者就労支援連絡会」や「城北職業能力開発推進協議会」等の関係機関と連携して、取り組みを行っていく。
- 問** いじめによる子どもの悲劇を繰り返すべきではない。学校での子どもと教師、家庭での親と子どもの強い絆や地域の連携が必要では。
- 答** 学校・保護者・地域との連携を深め、いじめの予防、早期発見、解決が図れるよう対応していく。

1月は「政治家の寄附禁止強化月間」です!



政治家が選挙区内の人に祝金や祝品などを出すことは禁止されています。また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも禁止されています。

政務調査費に関するの北区議会の対応について

政務調査費は、条例（東京都北区議会政務調査費の交付に関する条例）に基づき、北区議会議員の調査研究のため必要な経費の一部として、北区議会の各会派に交付されています。

政務調査費の用途については、収支報告書を公開することができる旨、平成16年7月21日号の「くぎかいだより」で掲載しております。

北区議会では複数回の幹事長会を開会するなかで、今後の対応を検討し、この機会を捉えて、より透明性を高めるため、情報公開も含め、適正な処理ができるよう検討会を設置いたしました。

今後とも皆様の負託に応えられる北区議会として努力してまいります。

29日

本会議

○一般質問、議案の付託ほか

12月

1日

区民生活委員会

○委員会

・議案審査
はこね荘の指定管理者の指定について

・所管事務調査
東京都北区立ふれあい館条例の一部を改正する条例ほか
・請願・陳情審査
都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書提出に関する件ほか

・建設委員会
○説明会
・(仮称)王子給水所の整備について
・外語大跡地 住宅用地の整備について

○委員会

・議案審査
東十条駅北口第二自転車駐車場の指定管理者の指定について

・所管事務調査
平成十八年度東京都北区一般会計補正予算(第三号)
・請願・陳情審査
グラントステージ赤羽の建替組合による再建事業の円滑化に向けた北区独自支援に関する件ほか

・説明会のまとめ

4日

健康福祉委員会

○委員会

・議案審査
東京都北区立八幡山児童館の指定管理者の指定について

・所管事務調査
東京都北区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例ほか

一般質問

浮間地区の諸課題について
子ども読書活動の推進を



公明党議員団
稲垣 浩

「緊急地震速報」の運用について
地域周辺の諸課題について



公明党議員団
上川 晃

介護保険の充実について
自治体の人材マネジメント革新を



公明党議員団
土屋 敏

中間的自治体の情報公開について
後期高齢者医療広域連合について

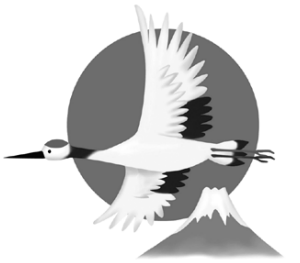


日本共産党
北区議員団
中川 大一

深刻化する教育の諸問題について
王子駅周辺の環境整備について



社会フォーラム
佐藤 有恒



問 浮間橋周辺は大型車の出入りが多く歩行者等の通行は大変危険である。安全対策として、浮間ハイマート側浮間橋脇道路について護岸の空地を整備し拡幅すべきでは。

答 自動車の円滑な走行と事故を防ぐことが必要。車道拡幅は河川管理者と協議し実施に向け検討する。

問 高齢者や障害者のため、JR東日本に対して埼京線北赤羽駅にエレベーターを早急に設置するよう積極的な働きかけをすべきでは。

答 浮間口にエレベーター設置の方向で検討していると聞く。JRに早期設置を強く働きかけていく。

問 子どもの読書活動を充実させるため、全庁的な取組みを行う推進会議を立ち上げ、施策の検証・各課の連携を進めるべきでは。

答 提案の推進会議を設置し、関係部課との連携を更に強化するとともに、更なる施策の充実に努める。

問 各学校との連携や地域ボランティアの活用等を行う「学校図書館支援センター推進事業」の研究地域に、浮間地区が指定されている。今後、問題点や効果等を検証しながら、区内全域に拡大すべきでは。

答 学校図書館支援センターやボランティアのあり方を調査研究し、成果と課題を十分検証していく。

問 一般家庭に家具転倒防止器具の取り付けを普及拡大するための助成について、北区の取組みを問う。

答 引き続き他区の状況も参考にしながら、防災訓練等様々な場面や広報媒体を通じ、家具転倒防止策の有効性と重要性を説明していく。

問 子どもを犯罪から守る「北区子ども安全ボランティア」運動の再構築が必要。参加者の保障についてどのように整備するかを問う。

答 防犯パトロール用の腕章やボランティア保険は事業の発足に合わせ予算化し、防犯に役立てている。

問 大規模な公営住宅に囲まれる周辺地域住民や高齢者に、臨時の駐車スペースが切望されている。赤羽台団地及び都営桐ヶ丘アパート地域にスペースの確保はできるか。

答 高齢者を訪問する家族やヘルパーにも利用できる駐車場の確保を都市再生機構と東京都に要望する。

問 赤羽台・桐ヶ丘地域は高台の為赤羽駅を利用する際、高齢者、障害者の日常生活に支障をきたしている。赤羽台トンネル赤羽出口にエレベーターの設置ができないか。

答 高低差が円滑な移動の妨げになつておりと認識する。都市再生計画案等の中でエレベーターの設置箇所も含めた検討を要望していく。

問 小規模多機能型居宅介護や夜間対応型訪問介護等の地域密着型サービス整備・誘導が遅れている。北区でも事業者公募を実施すべき。

答 多くの要因が重なり参入が進まない現状や他区の状況、事業者の意向等を十分に見極め対応する。

問 特別養護老人ホームの計画的整備と、療養病床の再編成の受け皿として医療的対応も可能な老人保健施設の積極的誘引を求め。

答 特養は引き続き計画達成に向け努力を続ける。次期介護保険事業計画策定の中で老人保健施設の必要利用定員を明らかにしていく。

問 七十五歳以上の後期高齢者医療制度による医療サービスと介護サービスとの適切な連携を問う。

答 後期高齢者医療制度の論議を注視していく必要がある。また、国が策定する地域ケア体制の整備指針と都が作成する整備構想を注視しながら必要な対応を図っていく。

問 人材は最高の経営資源であり知的資本である。区は「人」が重要な資源であるという発想に基づいた能力開発型人材マネジメントシステムを導入してはどうか。

答 職員の能力を総合的・戦略的に育成していく能力開発型の人材マネジメントが極めて重要と考える。

問 東京区政会館に入居する特別地方公共団体・特別区協議会・区長会等の「中間的自治体」は、住民を置き去りにした巨大な統治機構で、公開や透明性、住民参加機能の確立が重要である。①区長会の議事録作成と傍聴制度の導入による会議の公開を求め。②主要五課題の都区協議における議事録作成と会議公開の原則の実現を強く求める。③各区議会への報告について、「区政会館だより」では不十分である。全ての関係資料が委員会に必ず届く仕組みが必要であり、報告義務の制度化を求める。

答 ①区長会事務局によると議事録は従前からの申し合わせにより作成しておらず、傍聴制度もない。②都区協議のあり方に関する検討会については、検討方向の大半を非公的に協議するものであり、議事録は作成しないと都区双方で確認している。③区議会への時宜にかなった報告に意を用いていきたい。

問 後期高齢者医療広域連合の課題で、連合議員の選出は各議会の推薦ではなく、会派構成に反映した議席配分にすべきで検討を求める。

答 各会派の規模を問わず、議会の中で自由に立候補の機会が与えられることから各議会推薦となった。

問 いじめをなくすために緊急に取り組むべき対策と中長期を見据えた改善策の両面からの対応が求められる。区の検討状況を問う。

答 いじめ問題緊急対策本部を設置し、いじめ相談ミニレターの配布、教育相談所の相談時間拡充等緊急的対応を実施する。中長期的対応は対策本部で検討し実施していく。

問 今の学校現場の実状ではきめ細かく児童・生徒と向き合い指導できる少人数学級編成が求められる。区の主体的な見解を改めて求める。

答 成果を上げつつある学力パワーアップ事業等の少人数指導に積極的に取り組み、今年度中学校に拡大した。引き続き充実に努めていく。

問 親水公園側から飛鳥山公園側へのアクセスは明治通りに分断され、夢の架け橋やトンネルで結ぶ案は区民の強い要望。今後の展望は。

答 両公園の連携は観光資源として効果を高めると考え今後研究する。

問 「介護地獄」の状態が依然として後を絶たない。現状の困難に的確に対応した介護保険制度にはほど遠いが現状認識と課題は何か。

答 介護保険の公平・公正な実施、医療や福祉施策と連携した総合的な体制づくりが必要。国や都とも連携しながら適切に対応していく。

19日	15日	8日	7日	5日
<ul style="list-style-type: none"> 都区制度等調査特別委員会 ○委員会 ・今後の都区あり方に関する検討についてほか 	<ul style="list-style-type: none"> 地域開発特別委員会 ○勉強会 ・東急目黒線の連続立体交差事業の事例について ○委員会 ・勉強会のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 議会運営委員会 ○委員会 ・第一回定例会についてほか 	<ul style="list-style-type: none"> 議会運営委員会 ○委員会 ・本会議の運営についてほか 	<ul style="list-style-type: none"> 企画総務委員会 ○委員会 ・議案審査 ・東京都北区組織条例の一部を改正する条例ほか ・事前議案審査 ・職員給与に関する条例の一部を改正する条例ほか ・陳情審査 ・「中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める意見書」提出に関する件

区長提出の議案

「条例」

○東京都北区組織条例の一部を改正する条例（賛成多数）（組織改正を行う）

○東京都北区立ふれあい館条例の一部を改正する条例（賛成全員）（新設ふれあい館の名称、位置及び使用料を規定する）

○東京都北区児童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）（新設児童クラブの名称及び実施場所を規定する）

○東京都北区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例（賛成全員）（学校教育法の一部改正により、盲学校、ろう学校及び養護学校の名称が特別支援学校に改められることに伴い、規定の整備を行う）

○東京都北区奨学資金貸付条例の一部を改正する条例（賛成全員）（学校教育法の一部改正により、盲学校、ろう学校及び養護学校の名称が特別支援学校に改められることに伴い、規定の整備を行う）

○東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例（賛成全員）（東京都北区立学校の適正配置を推進する）

○職員給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）（職員の給与の引下げ等を行う）

○幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）（幼稚園教育職員の給与の引下げ等を行う）

○東京都北区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）（地域手当の額を据え置く）

○東京都北区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）（地域手当の額を据え置く）

○東京都北区教育委員会教育長の給与及び勤務に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）（地域手当の額を据え置く）

○職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）（退職手当の調整額の新設等を行う）

「規約」
○東京都後期高齢者医療広域連合規約制定について（賛成多数）

「和解」
○東京都北区立中学校における事故に関する和解について（賛成全員）

「指定管理者の指定」
○はこね荘の指定管理者の指定について（賛成全員）

○東京都北区立八幡山児童館の指定管理者の指定について（賛成全員）

○東十条駅北口第二自転車駐車場の指定管理者の指定について（賛成全員）

○東京都北区立那須高原学園の指定管理者の指定について（賛成全員）

○東京都北区立中央公園文化センター等の指定管理者の指定について（賛成多数）

○オリンピック東京大会記念東京都北区桐ヶ丘体育館の指定管理者の指定について（賛成多数）

「予算」
○平成十八年度東京都北区一般会計補正予算（第三号）（賛成多数）（町会・自治会会館建設費等補助費増額等）

議員提出の議案

○小規模住宅用地にかかる都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書（賛成全員）

（要旨）現在の景気状況における税負担感に配慮し、負担増につながる小規模住宅用地にかかる都市計画税の軽減措置の見直しは行わず、将来

の恒久化をめざし、現行のまま平成十九年度以降も継続するよう求める。（提出先）東京都知事

○小規模非住宅用地にかかる固定資産税・都市計画税の減免措置の継続を求める意見書（賛成全員）

（要旨）小規模非住宅用地にかかる固定資産税・都市計画税の減免措置を、将来の恒久化をめざし、現行のまま平成十九年度以降も継続するよう求める。

（提出先）東京都知事

○商業地等にかかる固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書（賛成全員）

（要旨）商業地等にかかる固定資産税・都市計画税の負担水準の上限を六十五パーセントまで軽減する措置を、現行のまま平成十九年度以降も継続するよう求める。

（提出先）東京都知事

○固定資産税における償却資産に関する意見書（賛成全員）

（要旨）納税者が納得して納税でき、申告しやすい環境を整えるため、一、固定資産税における償却資産の免税点を基礎控除に改め、控除額を大幅に引き上げること。二、固定資産税における償却資産の申告期限を三月三十一日とすることの実現を求める。

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

○飲酒運転等に対する施策の強化を求める意見書（賛成全員）

（要旨）飲酒運転等による交通事故の撲滅にむけ諸施策の強化を、早急に講じるよう強く要望する。

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、国土交通大臣、国家公安委員会委員長

して、訪問や出張による相談等を実施すること。一、「法テラス」について、特に高齢者、障害者、外国人若者等に配慮し、きめ細かく周知徹底を図ること。一、利用者の利便性を鑑み、「法テラス」は日曜日も業務を行うこと。一、メールによる相談サービスを早期に導入すること、

○教育基本法に関する意見書（賛成多数）

（要旨）教育基本法改定案の徹底審議を行い、今国会で拙速に成立することのないよう求める。

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣

○東京都心身障害者扶養年金制度に関する意見書（賛成多数）

（要旨）心身障害者扶養年金制度を拙速に廃止しないよう慎重な対応を求める。

（提出先）東京都知事

結果の出た 請願・陳情

採択されたもの

○グラントステージ赤羽の建替組合による再建事業の円滑化に向けた北区独自支援に関する件 請18・2

○都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書提出に関する件 請18・3

○小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続を求める意見書提出に関する件 請18・4

○負担水準が六十五％を超える商業地等の税額軽減措置の継続を求める意見書提出に関する件 請18・5

○固定資産税における償却資産に関する意見書提出に関する件 請18・6

○北区画街路互号線開通後の歩行者・住民の安全を最優先する周辺街路整備を求める件（第一、三項） 陳18・24

○北区画街路互号線開通後の歩行者・住民の安全を最優先する周辺街路整備を求める件（第一、三項） 陳18・24

○廃プラスチックの焼却処理と熱回収に関する件（第一、三項） 陳18・28

○高齢者への健康奨励金ならびに在宅介護者への元気奨励金の支給に関する件 陳18・32

※理由は願意に沿い難いため

○なお、その他の陳情は継続審査となりました。

住民の安全を最優先する周辺街路整備を求める件（第四項） 陳18・24

▽趣旨に沿うよう努力すること

○赤羽駅周辺放置自転車対策等に関する件 陳18・31

▽趣旨に沿うよう努力すること

▽は、採択された陳情に付された意見

不採択となったもの

○「廃プラスチックの焼却処理と熱回収」に関する件（第一、三項） 陳18・28

○高齢者への健康奨励金ならびに在宅介護者への元気奨励金の支給に関する件 陳18・32

※理由は願意に沿い難いため

○なお、その他の陳情は継続審査となりました。

○なお、その他の陳情は継続審査となりました。

○なお、その他の陳情は継続審査となりました。

○なお、その他の陳情は継続審査となりました。

態度の分かれた案件

案件名	議員団										議決結果
	公明党議員団(10)	日本共産党北区議員団(9)	自由民主党議員団(9)	民主党北区議会議員団(6)	あすか新生議員団(3)	社会フォーラム(3)	緑風クラブ(1)	21世紀市民の会(1)	北クラ(1)	議決結果	
東京都北区組織条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	▲	○	×	○	○	可決
東京都北区立学校設置条例の一部を改正する条例	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約制定について	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
東京都北区立八幡山児童館の指定管理者の指定について	○	▲	○	○	○	▲	○	○	○	○	可決
東京都北区立中央公園文化センター等の指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	▲	○	×	○	○	可決
オリンピック東京大会記念東京都北区桐ヶ丘体育館の指定管理者の指定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成18年度東京都北区一般会計補正予算(第3号)	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
教育基本法に関する意見書	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	可決
東京都心身障害者扶養年金制度に関する意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	可決

○賛成 ×反対 ▲退場

新年の抱負

公明党議員団

あけましておめでとうございます。
本年が区民の皆様にとりましてより良き年となりますようお願い申し上げます。

北区の高齢化率は二十三パーセントと二十三区で二番目の高さであり、超高齢化社会が目前に迫っています。また、団塊の世代の一齐退職など少子高齢化のなか、時代を適切に判断し、長期の将来展望を見通した、区政における今後とも持続可能な確固とした制度や施策の確立に最大限の努力が求められます。

昨年は障害者自立支援法の施行、介護保険制度の見直し、指定管理者制度の導入など、私たちの生活全般に関わる大きな変革の年でありました。低所得者対策、弱者対策にいつそうの配慮をしなければなりません。

公明党は「大衆福祉の公明党」の自覚に立ち、子ども医療費の中学三年生まで所得制限無しでの無料化、介護保険の福祉器具の激変緩和策や危機管理室を設置し安全・安心施策の推進など「区民の目線で区民が主体」の多くの施策を実現してまいりました。

本年は引き続き区民本位の行政改革の挑戦の年でもあります。増加する財政負担、団塊世代大量退職へのアウトソーシング、市場化テスト導入、電子自治体の体制や、いじめ・不登校など教育現場の問題、学校適正配置、学校の改築など多くの課題が山積しています。これからも区民の皆様お一人一人の為に「闘う人間主義」「生活現場主義」の公明党として頑張つてまいります。

皆様のご健勝とご多幸、ご繁栄を心からお祈り申し上げます。

幹事長 宇野 等

日本共産党北区議員団

あけましておめでとうございます。謹んで新年のあいさつを申し上げます。

今年、小泉前自民公明連立内閣による医療改悪や様々な庶民増税・負担増路線が引き続き区民に重くのしかかってくる年です。このことは、日本共産党北区議員団の区民アンケートに寄せられた、二五〇〇人あまりの回答から、生々しく伝わってきます。

いざなぎ景気を超える好況との報道がされていますが、それはごく一部の大企業に限られ、逆に、非正規雇用が三割を超え、四〇〇万世帯が「働けど働けど生活保護基準すれすれ」という状態におかれています。

加えて、安倍内閣は歴史認識でも、超タカ派として知られ、憲法九条や教育基本法の改悪に執念を燃やしています。

石原知事も同様です。福祉・教育の補助金削減や豪華海外視察・都政の私物化に都民の批判が高まっています。

このような中で、北区に求められているのは、なによりも平和と安心、区民の暮らしや営業を守ることに全力を尽くすことです。

日本共産党北区議員団は①介護認定の北区独自のランク下げ基準を改善する②住民税増税に伴う国民健康保険料や介護保険料の負担増を軽減する③障害者自立支援法の撤回を求め、区独自の助成を拡充する④高校生までの医療費無料化、妊婦健診・出産費用や第二子からの保育料を無料化する⑤ワーキングプア対策などを求めて参ります。

二つの大きな選挙が続く年です。今年もよろしくお願いいたします。

幹事長 八巻 直人

自由民主党議員団

新年明けましておめでとうございます。
新しい年が区民の皆様により良い年であります様、ご祈念申し上げます。

私達北区自由民主党議員団も心新たに、区民生活の向上、区政進展に真剣に取り組んで参ります。本年自民党が進めて参ります重点施策は区民一人一人を守る「安心・安全」対策の充実、災害に強い防災対策、利用しやすい介護保険のあり方、特別養護老人ホームの増設、バリアフリーのまちづくり、区内主要駅周辺の再整備、都市計画道路のあり方、区内商店街の支援策、ゴミ対策を含めた環境工コ対策、少子化による学校教育のあり方、施設整備、子育てしやすい環境と支援、区内産業・起業支援と中小企業融資支援、障害者自立支援と援助のあり方、ひとり暮らし高齢者・高齢福祉の生きがい支援などまだまだ推進させなければいけないことが多くあります。これらを区側に具体的な実行を提案いたします。私達自由民主党議員団は、次の時代を踏まえた政策を打ち出し、それぞれの地域の特色を生かしつつ、未来に向けた政策と、今、必要と思われる施策がいち早く実現できる様努力をいたして、子ども医療費助成制度などは、国、東京都に先駆け義務教育まで、完全無料化を提案いたし、すでに実現しております。一方区民の皆様への福祉行政サービスや、北区の将来像を確立するには安定した財源が必要であります。自民党は国、東京都に財源確保を明確に主張してまいります。本年も区民生活重視で活動いたしますので宜しくお願い申し上げます。

幹事長 山崎 満

民主党北区議会議員団

新年あけましておめでとございます。
区民の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年、ご不幸に見舞われたご家族の方々にはお悔やみの言葉を、また、体調を崩された方々には、一日も早いご回復をと心からご祈念申し上げます。

報道では、景気は回復していると言われますが、家庭ではいまだに豊かさが感じられませんが、増税や医療費の値上げが消費購買力の減少を招いていることが主な要因であります。区民福祉の向上のためには、まず、地方財源の充実に努めることが重要であります。私達の住む地方自治体に財源を移すことが町の活性化にも繋がるものであります。

北区の高齢化率は既に二十パーセントを超え、少子化も進んでおります。少子・高齢化対策をはじめ福祉・教育・医療・中小零細企業対策、更に地方と環境重視の公共事業、いわゆる福祉型・生活重視の区政へ、より一層の転換が必要です。

保育園への全員入園、特別養護老人ホームの整備、ホームヘルパー等在宅福祉の充実、小中学校教員の増配置、中小零細企業の受注拡大策を通じて雇用と消費の拡大を図り地域経済の活性化を促進します。

本年は、統一地方選挙が施行されます。民主党北区議会議員団は、皆様の負託に応えるべく、区民の願いでもある「誰もが住みたくなる元気な北区」の実現に向け全力を傾注してまいります。本年も何卒よろしくお祈り申し上げます。

幹事長 鈴木隆司

あすか新生議員団

新年おめでとございます。
今年の干支は「亥・いのしし」ですが、「亥」は閉ざす意味で、草木の生命力が種のなかに閉じ込められた事を表すそうです。しかし「いのしし」は、上昇を志向し力強く突き進む意味があるようです。

今年の区政が「閉ざす」のか「力強く進むのか」この四月の区議会議員選挙の行方も大きな分岐点となります。

「あすか新生議員団」は、区民の視点に立ち政治に理念をもちながら活動してまいりました。この政治の理念が崩れると区民の視点も消え、誰のための政治なのか分からなくなることを私たちは区政の現場で何回となく見てまいりました。せめて私たちは、理念を見失わないよう努力をしております。

その区民の視点に立ち、今年は、皆さまが身近に利用する保育園や特別養護老人ホームや児童館、文化センター、体育館など多くの施設が指定管理者に移行されます。私たちは、移行に向けて、長期的な展望に立つこと、専門性を持った検査体制をとること、運営の透明性を確保することを求めましたが、その内容の精査に努めます。

教育先進都市を目指すため具体策を学校改革に取り入れること、文化振興の充実、産業の活性化、福祉、医療の充実などさらなる取組をしたいと思っております。

今年は、「いのしし」のように、力強く進むことが出来るよう党派一丸となって区政に邁進いたします。皆さまのより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

幹事長 安田勝彦

社会フォーラム

二〇〇七年の年頭に当たりご挨拶を申し上げます。昨年は介護保険法の改定、医療制度改革関連法の成立、障害者自立支援法の本格実施に象徴される社会保障を巡る大きな制度後退、そして、税負担の強化などの嵐が吹き荒れました。こうした中で、区民の生命と健康、暮らしと仕事を守ってほしいとする区民の皆様が、北区政に寄せる期待は従前になく高まっていると存じております。

私共社会フォーラムは、区長提案の様々な案件については、区民の皆様が暮らしを担う見つけ、区民の目線に立って対応して参りました。特に、「行財政改革」の旗頭として北区が種々の分野で導入を進めている「区の仕事の民間への移行」については、福祉・教育・文化面でのそれは、区の責務の放棄として厳しく対応して参りました。区議会に占める私共の位置および力は大変微力なものです。その流れに少しでも竿をさしてきたものと確信しております。

さて、「小泉路線」の継承を掲げる安倍内閣ですが、国民を犠牲にする政治姿勢をさらに加速させていると言わざるを得ません。平和を守る課題、国民の暮らしを守る課題、子ども達の教育問題などで、そのことは一目瞭然です。区民の皆様、特に子ども・高齢者・障害をお持ちの方など、区政の光を真っ先に当てなければならぬ方々のための課題、そして、北区から再び平和を築き上げていく課題を先頭に、本年も邁進していく決意です。引き続きのご指導・ご鞭撻を心からお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。

幹事長 平田雅夫

緑風クラブ

新年のお慶びを申し上げます。緑風クラブは皆様の生活向上と開かれた区政執行の為、区民の視点にたつて努力を致します。建設委員会、防災対策特別委員会では是非々々の立場を取らせて頂きました。公約に挙げました都市、環境、福祉、教育、経済施策の向上にまい進致します。
石川 清

21世紀市民の会

戦後六十二年日本の針路は不安に満ちています。北区でも競争とテロを想定した国民保護計画策定が進んでいます。好景気の裏でパートや派遣社員が増え、暮らしの足元では住民税や介護保険料など応能負担の原則が崩壊し、格差や痛みが拡大しています。今年も平和と暮らしを！
古沢久美子

北クラブ

新年あけましておめでとございます。
私共北クラブは本年も学校教育施策の充実、商工業の活性化、特に高齢・若年期認知症施策、高齢者住宅施策に重点を置き区民生活の向上に向け活動してまいります。区民の目をしっかりと見据え区政に挑戦いたします。
池田 博一

北区議会の構成

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

(会派名の略称)
 公=公明党議員団
 共=日本共産党北区議員団
 自=自由民主党議員団
 民=民主党北区議会議員団
 あ=あすか新生議員団
 社=社会フォーラム
 緑=緑風クラブ
 市=21世紀市民の会
 北=北クラブ



謹賀新年

本年もよろしくお祈りします。



企画総務委員会 (定数9人)	区民生活委員会 (定数9人)	健康福祉委員会 (定数9人)	文教委員会 (定数8人)	建設委員会 (定数9人 欠員1人)					
 ◎宇野 等 上十条1-9-23-1002 3909-0473(公)	 ○小池 工 浮間3-1-4-504 5392-4892(自)	 ◎八巻直人 滝野川2-34-4-201 3917-9827(共)	 ○花見 隆 志茂3-21-9 3598-1040(民)	 ◎相楽淑子 赤羽北3-22-17 3900-7814(共)	 ○大島 実 豊島5-5-6-528 3914-9342(公)	 ◎尾身幸博 田端5-7-9 3821-6965(自)	 ○佐藤有恒 滝野川1-68-7-1101 3940-8177(社)	 ◎榎本 一 滝野川2-6-11-101 3940-9373(民)	 ○八百川孝 東十条5-1-9-101 3901-9898(共)
 小関和幸 豊島5-4-1-1319 3912-6622(公)	 金子 章 十条仲原1-3-7 3908-6661(あ)	 上川 晃 赤羽台4-17-18-808 3907-0505(公)	 河野昭一郎 田端新町1-27-14 3893-8232(自)	 大畑 修 中十条3-8-9 3908-8669(民)	 黒田みち子 滝野川5-9-3 3916-0056(自)	 池田博一 赤羽北1-3-1 3907-0669(北)	 稲垣 浩 浮間2-10-7 5392-1242(公)	 青木博子 志茂4-25-3 3901-7645(公)	 石川 清 赤羽西2-18-12 3900-9222(緑)
 木元良八 神谷2-11-2 3902-3564(共)	 鈴木隆司 志茂3-17-23 3901-3618(民)	 高木隆司 中十条1-24-13 3900-9796(自)	 土屋 敏 田端3-3-14 3827-7605(公)	 清水希一 浮間3-21-14 3967-5580(公)	 永沼正光 志茂2-48-4 3901-7571(自)	 樋口万丈 豊島3-13-10 3913-9015(自)	 福田伸樹 赤羽台3-13-24-202 3900-0137(民)	 後藤憲司 滝野川6-46-14-204 3916-2908(公)	 林 千春 豊島4-16-34-811 3914-3407(民)
 福田 実 王子5-2-4-601 3927-3304(社)	 山崎泰子 豊島7-19-10 3927-7832(共)	 中川大一 赤羽北2-18-18 3900-5553(共)	 古沢久美子 志茂5-2-12 3901-8703(市)	 平田雅夫 堀船4-5-15 3912-2567(社)	 福島宏紀 豊島5-4-1-618 3913-4751(共)	 本田正則 田端3-4-12-305 3824-3956(共)	 横満加代子 王子3-8-2 3914-5708(公)	 藤田隆一 上中里2-4-11 3911-1318(自)	 谷口 健 赤羽南1-16-2-605 5249-5886(共)
 山崎 満 赤羽西4-19-8 3909-3846(自)		 山中邦彦 赤羽2-49-11 3901-9376(あ)		 安田勝彦 神谷3-30-10 3902-1812(あ)					

議会運営委員会 (定数13人)

- ◎黒田みち子 ○小関和幸
- 宇野 等 上川 晃
- 小池 工 鈴木隆司
- 中川大一 花見 隆
- 平田雅夫 安田勝彦
- 八巻直人 山崎泰子
- 山崎 満

地域開発特別委員会 (定数)

- ◎福田伸樹 ○高木隆司
- 宇野 等 大畑 修
- 金子 章 河野昭一郎
- 佐藤有恒 清水希一
- 古沢久美子 本田正則
- 八百川 孝

防災対策特別委員会 (定数11人)

- ◎横満加代子 ○木元良八
- 青木博子 石川 清
- 尾身幸博 小池 工
- 相楽淑子 土屋 敏
- 花見 隆 山中邦彦

都区制度等調査特別委員会 (定数)

- ◎永沼正光 ○福田 実
- 池田博一 稲垣 浩
- 小関和幸 鈴木隆司
- 中川大一 林 千春
- 樋口万丈 福島宏紀
- 山崎 満

交通環境対策特別委員会 (定数)

- ◎谷口 健 ○上川 晃
- 榎本 一 大島 実
- 黒田みち子 後藤憲司
- 平田雅夫 藤田隆一
- 安田勝彦 八巻直人
- 山崎泰子

今後ともわかりやすい「くぎかいだより」をめざしますので、よろしくお祈りします。

区議会だより編集委員会
 〒114-8508 北区王子本町1-15-22
 ☎(3908)9949(直通)
 FAX(3908)0600
<http://www.city.kitakyu.jp/>
 「北区議会」からご覧になれます
 のご利用下さい。

あ と が き

平成19年第1回定例会本会議の代表質問の様子を北9チャンネルで録画放映します。

放映日時(予定、詳細は番組表でご確認ください)

3月11日(日)
午前10時〜 6時間程度

3月12日(月)〜16日(金)、19日(月)
午後10時15分〜 1時間程度
(再放送)

議会放映を北ケーブルテレビでぜひご覧ください

27日(火)	本会議
26日(月)	議会運営委員会
20日(火)	予算特別委員会⑤
16日(金)	予算特別委員会④
14日(水)	予算特別委員会③
13日(火)	予算特別委員会②
12日(月)	予算特別委員会①
8日(木)	企画総務委員会
7日(水)	建設委員会
7日(水)	健康福祉委員会
6日(火)	文教委員会
6日(火)	区民生活委員会
2日(金)	(本会議)
3月1日(木)	本会議

次回定例会のお知らせ

平成19年第1回定例会は、三月一日から三月二十七日までの二十七日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前十時開会予定です。